

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
社会学	219～	1年生・後期	2単位	選択	平田 毅	
社会学Ⅱ	～218					
履修の前提条件		自己と、自己をとりまく他者(=社会)について、洞察しようとする姿勢をもっていること。				
授業概要 (Course Outline)						
現代社会の諸事象について社会的に考察していきます。その際、最も大切なことは、自らの生活感覚(リアル)と重ね合わせて理解し検証することです。つまり自ら論理的に「考える」ことです。そこでこの授業では、現代社会について、都市化、消費文化、情報化の3つの領域をとりあげ、それぞれの観点を通して現代社会のあり方を考察していきます。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					○
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
・現代社会の諸事象の文化的特質と構造を理解し、それを自らのリアリティと重ねて検証することができる。 ・レポート作成や定期試験、授業の中での討議などを通して、自らの「考え」を論理的の根拠づけて展開できる力を養う。						
事前学習の内容	毎授業時に課せられるミニ課題に取り組み、次回授業時の準備をする。					
事後学習の内容	各自の授業ノートのまとめと整理を行い、今日の学習の振り返りシートを記入する。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に答えてください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を深められることを期待しています。 必要に応じて、全体もしくはグループでの討論・討議を通した授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなで学ぶ場を豊かにしていきましょう。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業終了後に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。 オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。 メールアドレス: t-hirata@kiis.ac.jp						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
毎授業時間に「社会学『学び』のまとめシート」を記入し、今日の学びを振り返ってもらいます。しっかり、文章で記入するようにしてください。 また、この授業では、学びの足跡を定着させるために各人の「ノート」の作成を重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業ガイダンス 「社会学」って、どんな学問？ 「現代社会」って、どんな社会？ (→プレレポート課題)		
第2回	「現代社会」を社会的に読み解くとは？ 「社会的」とはどういうことか。		
第3回	都市化と消費社会がもたらしたもの(1) 都市とは何か (都市の定義)		
第4回	都市化と消費社会がもたらしたもの(2) 都市化とアーバンイズム (都市的な暮らしと都市文化)		
第5回	都市化と消費社会がもたらしたもの(3) 近代化と都市文化の形成 (近代黎明期の都市型イベント)		
第6回	都市化と消費社会がもたらしたもの(4) 都市の成長過程と消費文化の生成 (都市型イベントの商店化)		
第7回	都市化と消費社会がもたらしたもの(5) 都市文化の成熟と消費文化の発展 (都市空間の演出・祝祭化)		
第8回	都市化と消費社会がもたらしたもの(6) 消費社会の特質 (ボードリヤールの消費社会論)		
第9回	都市化と消費社会がもたらしたもの(7) 記号の消費と現代人のアイデンティティの行方		
第10回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(1) 情報化・情報社会とは何か (現象としての情報化)		
第11回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(2) 情報社会の諸相 (情報の特質)		
第12回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(3) コンピュータに媒介されたコミュニケーション (CMC空間)		
第13回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(4) 情報社会の光と影、そしてその先…(情報化の功罪)		
第14回	「現代社会」を社会的に読み解くとは？ (まとめ) 都市・消費・情報、そしてグローバルな現代社会		
第15回	定期試験		
第16回	「現代社会を考える」とは？ 「いま・ここ」から考える。(「学び」の振り返りと討議)		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて授業で提示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>・プレレポート ・ミニ課題 ・各自作成のノート 以上の取り組みと期末試験の成績によって、総合的に評価する。</p>			